

学生の学力・人間力・社会力の養成

—e能力ポートフォリオとe能力アセスメントを活用して—

▶ 文部科学省教育GP

今まで大学では、試験の点数や出席率などで学生の学力評価を行ってきました。しかし現代の知識経済社会では、単に学力のみでは社会の要請に応えることができません。これからの学生は、少子高齢化社会にあっても安定した社会を築き、グローバルな経済競争に対応できる、強靱な人間力と社会力を身に付けていかねばならないからです。その

ために、学生は「何のために学ぶのか」を自ら考え、夢と志を掲げて主体的に学ぶ必要があります。本取組は、学生の学力・人間力・社会力の指標と基準を明確にし、教職員の人々が一緒になって、学生の自己点検と自己管理による全人格的な成長を目指すものです。

本取組の概要

01 学生の人間力・社会力を定量的に評価

これまで定期的な特権をもつ人間力・社会力の評価の指標と基準を明確にすることは難しいものでしたが、学生の質的な軌跡を定量的な評価によって判定・記録します。

02 「e能力ポートフォリオ」の構築

学生一人ひとりへのきめ細かい支援・指導を可能にするため、学生が入学時から卒業まで作成するインターナシップ参加報告書やプレゼン資料といった多様な学習成果を記録・蓄積し自己管理できる「e能力ポートフォリオ」を構築します。

03 「e能力アセスメント」の実施

教職員や外部評価員による学習の到達度や志向・態度に関する客観的評価を自己点検できる「e能力アセスメント」を実施し、学生の学びに対する動機付けに役立ちます。

04 「TIES」の活用

本学が開発した総合学習支援サポートシステム「TIES(タイズ)」を活用。デジタルペンを使って書き込まれたレポートを教職員と学生と一緒にTIES上で検討することができます。このインタラクションはTIESのライブシステムによって自動的に録画され、

